

<様式2> 納入機器等仕様確認表

(1)仮想基盤サーバ:9台

仕様	メーカー	品名	型式	補足説明	資料No
<ul style="list-style-type: none"> ・サーバはラックマウントサーバとすること。 ・サーバのCPUは、基本動作周波数(2.1GHz)コア数(32コア)プロセッサキャッシュメモリ(160MB)相当以上の性能を有するCPUを2個搭載していること。 ・メモリは192GB以上搭載すること。 ・内蔵記憶装置は、240GB以上のFlashモジュールを2本ずつ搭載すること。 ・電源は、100Vで稼働できる構成にて導入すること ・電源ユニットおよびファンは冗長化されていること。加えて、電源ユニットについては、活性交換が可能なこと。 ・ラックマウントサーバの設定情報 (MACアドレス、WWN、VLAN、UUID、BIOS、Boot Order) をプロファイルとして管理することで、保守交換を簡易化することが可能なこと。 ・10GBase-SRポートを4ポート以上、1GBase-Tポートを4ポート以上有すること。 ・DVD-ROMドライブ機能を有すること。 ・仮想環境下でのパフォーマンス劣化を防止する為に、仮想化サーバインフラと仮想化ソフトウェアが連携動作しネットワーク負荷をハードウェア側にオフロード出来る機能を有すること。また並行して仮想マシンがノード間を移動する機能をサポートすること。 ・Broadcom(旧:VMware)社が認定しているハードウェアであること。また、サーバメーカーもVMware vSphere 8.0対応を認定していること。 ・コアシッチに接続する為、コアシッチ側の10GBase-SR SFP+モジュールも準備すること。 					

(2)基盤・ユーザプロファイルストレージ:1台

仕様	メーカー	品名	型式	補足説明	資料No
<ul style="list-style-type: none"> ・冗長性を考慮し、複数のコントローラを有すること。 ・iSCSIもしくは16GbFCで利用可能なポートを最大8個まで搭載可能なこと。 ・サーバとの接続は、10Gbit/s iSCSIにて接続することとし、冗長化構成とすること。 ・システムメモリ容量は、16GB以上であること。 ・冗長化構成として、RAID(0/1/10/5/6)のサポートに加えて、DDP (Dynamic Drive Pool)に対応すること。 ・2.5インチ SSDにて、実効容量13TB以上を確保すること。 ・電源は、100Vで稼働できる構成にて導入すること。 ・コアシッチに接続する為、コアシッチ側の10GBase-SR SFP+モジュールも準備すること。 					

<様式2> 納入機器等仕様確認表

(3)管理用スイッチ:2台

仕様	メーカー	品名	型式	補足説明	資料No
<ul style="list-style-type: none"> ・10/100/1000 Base イーサネットポートを24 ポート以上実装していること。 ・95.23Mpps 以上のパケット処理能力を有すること。 ・128Gbps以上のスイッチング容量を実装するボックス型のL2スイッチ製品であること。 ・スタック機能を有すること。 ・ポートにてリンクフラップ等の障害を検知した際、ポートを一時的に使用不可能な状態にし、一定時間経過後、自動で再度利用可能にする機能を有すること。 ・IEEE802.1Qに準拠したVLAN Tagging機能を有すること。 ・IEEE802.1Dに準拠したスパンニングツリー機能を有すること。 ・IEEE802.1s に準拠したマルチプル・スパンニングツリー機能を有すること。 ・IEEE 802.3ad に準拠したLink Aggregation 機能を有すること。 ・ユニキャストルーティングとして、RIP、OSPF、EIGRP stub に対応していること。 					